

令和4年2月定例会会議録

大崎町教育委員会

○日 時 令和4年2月21日(月)
15時30分から16時10分まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	藤井 光興
教育長職務代理者	溝口 信男
教育委員	二見 いすず
教育委員	吉田 博文

○関係者

管理課長	上野 明仁
社会教育課長	宮本 修一
管理課庶務係長	井元 享一郎

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回会議録の承認
- 3 委員の報告
- 4 教育長行政報告
- 5 報告
報告第 26 号 就学させる学校の指定の変更について
報告第 27 号 区域外の就学について
- 6 議案
- 7 委員から提出された動議の討論等
- 8 その他
- 9 翌月の行事等
- 10 閉会

○議決事項

議案番号	件名	審議の状況	採決次第
	なし		

○会議要旨

1	開会
教育長	ただいまから，2月定例会を始めます。
2	前回会議録の承認
教育長	異議なく承認
3	委員の報告
溝口委員	特にありません。
二見委員	特にありません。
吉田委員	<p>大崎町では，毎月第2土曜日に大崎地区と野方地区の2か所での子ども食堂が開催されておりますが，今回，志布志市のサンキョーミート株式会社様から，志布志市と大崎町の子ども食堂に対して肉を提供していただけることになったとの情報を関係者からお聞きしたので，2月12日に野方地区で開催された「のがた子ども食堂」の様子を見に行ってみりました。毎月土曜学校の日に合わせて開催されている子ども食堂には，以前は参加した子供たちが対面の食事をして大変賑わっていたのですが，最近，新型コロナウイルス感染症の影響によりお弁当を配布するという形で行っているということでした。今回開催された「のがた子ども食堂」には，58名の子供が参加しておりました。子ども食堂の本来の意味合いは，生活に困っている子供たちへの食事の提供，居場所づくりであると思いますが，地域のお母さん方が子供たちのために弁当を作ったり，バレンタインデーに合わせてチョコレートのお菓子を一生懸命作るなど，幅広い世代間交流の場になってきているなあと感じたところでした。</p>
4	教育長行政報告
教育長	<p>※資料に基づき報告</p> <p>教育長の行政報告ですが，最近の新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止となったものも多数あったところです。</p> <p>2月7日，校長最終面談を行いました。この面談は，年度当初に行った校長先生との面談で出していただいたそれぞれの目標と，その反省点等について伺うもので，各学校の現在の状況，問題点等について</p>

面談したところでした。2月14日の教頭最終面談についても、同様に行ったところです。

2月10日、鹿屋小・中学校のオープンスクールがありましたが、こちらも新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン開催となりました。

2月12日、大崎町PTA活動研究大会については、オンラインにより開催する予定でしたが、こちらも新型コロナウイルス感染症の感染拡大により書面開催となりました。

2月16日、第4回校長研修会が大丸小学校において開催され、今年度をふりかえり次のことを話しました。

まず、「学校の勢いは校長の勢いであり、結果を気にしなければ経営ではない」という話をいたしました。学力だけではなく何事においても結果を問題にしなければ経営ではなく、校長先生方自身の勢いが学校の勢い繋がってくるため頑張っていたきたいと話したところでした。学校は、「築城3年落城3日」と言われており、生徒指導関連などの大きな問題が発生すれば、3日で学校の雰囲気ガラッと変わってしまうので気をつけるように伝えました。

また、地区の教育論文募集があったのですが、特選の受賞数が例年の倍以上の18点ほどありました。

学力定着度調査の結果については、中学校2年生は管内9市町村の中ではトップ、中学校1年生は2番、小学校5年生は3番目という成績でした。4月19日に文部科学省の学力テストが控えておりますので、そこに向けて学校は頑張っており取り組んでいるところです。小中学校共に言えることは、読解力が不足しており読み取る力が弱いことと家庭学習が足りていないところがあるところです。

不登校者については、中々減少しない状況が続いておりますが、大崎中学校においては、保護者を集めて語り場を作るという取り組みを始めました。保護者の方々の中でも、子供の不登校について悩んでいるにもかかわらず誰にも相談する場がないという現状もありますので、校長先生方に保護者の悩みをしっかりと掴むよう話しました。

GIGAスクール関連については、各学校対応できるようになってきており、非常時には導入したタブレット等を活用した学習ができる状況まではきておりと考えておりますが、現場からはやはり対面授業がいいとの声が多く聞かれます。また、ICT支援員を活用して先生方のスキルも上がってきているところです。

これから先を見ずえて、まず、新型コロナウイルス感染症関連については、大崎町でも少しずつ感染者が出てきている状況ですが、幸い学校では数名程度で収まっているところです。今後も、油断せずに基本的な予防策を徹底するように話しました。

	<p>令和4年度の「大崎町の教育」をについてですが、今年度からの変更箇所は、SDGs達成に向けて、企業・大学等と連携したSDGsに対する意識・行動を高める学習活動の推進という項目を力点に追加しました。</p> <p>予算面については、コミュニティスクール（学校運営協議会）の開催に伴う報償費を各学校5回分と、地域学校協働活動の予算として、別途各学校代表者の集めた会を5月と2月に開催するためのものを予算計上しているところです。</p> <p>また、各学校における入学説明会の場において、虫歯予防の取り組みとしてフッ化物洗口を町内各学校で実施していること、体力、気力の充実を図るために歩いて登下校を推奨していること、また、子どもの悩み・課題については、担任教師に相談することなどについて保護者に説明するようにお願いしました。</p> <p>教職員の業務改善については、先に発表された鹿児島県のフォローアップ調査結果では、約80%の教職員は以前より改善されたと感じているという結果でしたが、大崎町はそれよりも少し低い74%という結果でありました。今後も行政等様々なシステムなどを活用し業務改善を推進できるよう考えていきたいと思えます。</p> <p>服務規律については、教職員の大きな事故等は発生しておりませんが、小さな事故は数件出ていることから気を引き締めるよう話したところです。</p> <p>校則の見直しについてですが、制服に関することでは、町内の学校で標準服を採用していない学校は、大崎小学校と大丸小学校の2校のみであります。以前、大崎小学校のPTAの方から制服の標準服化について要望が出たことがありました。その件については、PTA役員会等での承認が得られず進展していないという状況です。近年は、制服のズボン化等ジェンダーの問題もあり、制服や標準服を決めるということも簡単ではないこととなってきているところです。</p> <p>生理の貧困の問題については、大崎中学校では昨年12月から生理用品を保健室だけでなくトイレにも設置するようにしておりますがその後も特に問題も発生していないとのことであったので、今後小学校でもトイレに設置する方向となると思えます。</p> <p>2月の主な行政報告は以上です。</p>
5	報告
	<p>報告第26号 就学させる学校の指定の変更について</p> <p>報告第27号 区域外の就学について</p>

管理課長	資料に基づき説明
6	議案
	(今回はなし)
7	委員から提出された動議の討論等
教育長	発言がないので、動議はないものとします。
8	その他
二見委員	町内のこども食堂について 先ほど吉田委員の報告でありました子ども食堂についてですが、大崎町には、子ども食堂と呼ばれるところは何か所あるのでしょうか。
教育長	現在本町には、野方地区の「のがた子ども食堂」と、大丸地区にある「子ども食堂いちごちゃん」の2か所あると思います。最近の子ども食堂は、制度スタート時点の考え方とは変わってきており、生活に困っている子供達だけでなくいろいろな方々が集まる場所となってきたとの新聞報道もよく見かけます。
二見委員	なかなか難しい問題ではありますが、本当に生活に困っている子供たちが参加しにくくなるのではないかという心配もあります。
9	翌月の行事等
管理課長	3月1日から4月6日までの行事を資料に基づき報告
10	閉会
教育長	以上で、2月定例会を終了いたします。 以上